

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月16日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文：スタンフォード大学 現地言語：英語
留学期間	2022年6月～2022年8月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	なし年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月25日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：9月下旬～12月中旬 2学期：1月上旬～3月下旬 3学期：4月上旬～6月中旬 4学期：6月下旬～8月中旬 (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	4
創立年	1885

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	9,864	1,402,749 円	
宿舍費	2,685	381,417 円	
食費	1,652	234,674 円	
図書費	1	142 円	印刷物以外に教科書使わなかった
学用品費	10	1420 円	文房具やノート著を購入するため
携帯・インターネット費	45	6,392 円	Mint mobile という現地のキャリアで月15ドルのキャンペーンあった
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000	142,055 円	かなり遊びに行きました
被服費	0	0 円	服すべて日本から持っていきました
医療費	80	11,364 円	PCR検査用
保険費	1848	262,50 円	形態：明治大学からの保険制度に加入したことに加えて大学の保険制度にも入った
渡航旅費	4000	568,196 円	
ビザ申請費	280	39,773 円	1-20 と ds160 の申請にあたった費用
雑費	100	14,204 円	日常用品等
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計	21565	3,063,286 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：羽田空港 目的地：サンフランシスコ空港 経由地： 復路 出発地：羽田空港 目的地：サンフランシスコ空港 経由地：
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：_____ 料金：_____
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：JAL 料金：1952 復路 航空会社：JAL 料金：2048 ∴合計：4000
航空券購入方法
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店（店名：株式会社明大サポート） <input type="checkbox"/> インターネット（サイト名：） <input type="checkbox"/> その他（）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：Branner Hall） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 3）
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン（ <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可）
4) 住居を探した方法：
プログラムに申請した時点で寮も大学に選ばれた
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
IHP に所属する留学生は全員 Branner Hall に滞在させられました。部屋は広く、綺麗で、勉強するところも多く、ラウンジで色んなボードゲーム、卓球台、とテレビもありました。洗濯機も無料で使える。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（治療を受けた場所：）
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等：）
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
夜に出かける時に必ず前もって交通機関のスケジュールを調べたり、一人で治安の悪い所に歩かないようにした。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）
制限の5Gモバイルデータ通信があったが、日本のように電波の範囲が良くはなかった。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）
ほとんどクレジットカードでものを購入した、現金はだいたい友達にお金を返す媒体として使った。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。
とくにない。
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。（例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。）
S型助成金をいただいたため大学の方が払ってくれた。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか? なし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名 (留学先大学言語):	履修した授業科目名 (日本語):
Extremism in America, from the Ku Klux Klan to January 6	アメリカ文化論
科目設置学部・研究科	なし
履修期間	8 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定 (本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義式 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	Austin Clements
授業内容	このコースでは、再建時代から現代までの米国における過激派の歴史的概観と分析を行う。
試験・課題など	週 1 回の授業で配られた資料についての感想文 (300 words ぐらい)を書くこと、中間課題(一次資料に基づいて 6 ページぐらいのレポートを書くこと、期末テスト (3 時間ほどかかるレポート)
感想を自由記入	毎週授業前に 100 ページ以上の資料を読むのは大変だったが、過激派がどのように国の構築に貢献したのか、見識を深めることができたというのが利点があった。

履修した授業科目名 (留学先大学言語):	履修した授業科目名 (日本語):
Into the Metaverse: Designing the Future of Virtual Worlds	
科目設置学部・研究科	なし
履修期間	8 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定 (本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義式 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	Eugie Han
授業内容	このコースでは、Oculus Quest 2 ヘッドセットを使って、社会的な世界への仮想遠足に出かける。VR での体験、学術論文や記事、ディスカッションを通じて、学生は将来の仮想世界のデザインに取り組む方法を学ぶためのツールセットを開発する。
試験・課題など	週 1 回の授業で配られた資料についての感想文 (300 words ぐらい)を書くこと、中間と期末グループ発表もある。
感想を自由記入	この授業では、普段に付けられない Oculus のヘッドセットで色々な実験的なアクティビティをやったり、メタバースの潜在能力を理解することはあまりにもない機会だと思った。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Golf: Beginning			
科目設置学部・研究科	なし		
履修期間	8 週間		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	実技演習（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Erick Schlimmer		
授業内容	このコースは、ゴルフスイングの基礎、パッティング、チップング、サンドプレイを学ぶことを目的としている。このコースは、ゴルフスイングの基本、パッティング、チップング、サンドプレイを学ぶことを目的としており、スイングの基礎とコンディショニングに重点を置いている。効率的で再現性のあるスイングを構築するための強固な基礎となるよう、主要なスイングの基礎とコンディショニングに重点を置いて指導する。		
試験・課題など	とくにない。		
感想を自由記入	ゴルフの基本を学べたことはもちろん、週一回身体を動かせる機会であるので、フィジカルとメンタルの維持にも良かった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Voice Class 2: Beginning Voice, Level 2 (Group)			
科目設置学部・研究科	なし		
履修期間	8 週間		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	実技演習（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1 週間に 80 分が 1 回		
担当教授	Mary Linduska		
授業内容	ボーカルと歌い方の基本を学ぶ授業である。		
試験・課題など	課題はないが、期末テストはコンサートで歌う。ピアノ伴奏と一緒にソロ曲を歌う。		
感想を自由記入	歌うのは下手で、別に 8 週間後に mariah carey になるわけではないが、ボーカルの基本のテクニックを身に付けることができるなんて良い機会だと思った。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
LinkedIn でプロフィールを設定したらインターン先の人事部から連絡が来た。また、Boston Career Forum にて自分の履歴書を現在の内定先に出してから選考に勧められた。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
株式会社セガ
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
職種と企業が求めているものにもよるのだが、だいたい「学生時代に一番力を入れたこと」に聞かれたら、留学経験でのエピソードをネタにしても良いと思う。私は留学行く前に内定はもういただいたが、おそらく就職中にもトップユニバーシティまで留学をできたことは何が任された仕事に影響を与えるかもしれない。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
これからの進路を迷っているあなたへ、とりあえず自分の好きなことをやってみれば良い。親や家族とかに迷惑をかけたくなければ、まず金融的に独立して、自由を得てから好きなことに手を出してみてください。人生は短いから生きているうちに好きなことをやらなければならない。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTSを受験した。
	10月～12月	トップユニバーシティ留学と助成金の応募。
留学開始年	1月～3月	アルバイトで資金調達しながらビザ書類を準備していた。
	4月～7月	留学中で支出管理をしながらなるべく色々なことを経験してみた。
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	学生時代の最後の夏休みだったから好きなことばかりをした。
	10月～12月	卒論書くこと、部活の全国大会に向けて準備すること

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

実は私は、アジア圏以外に渡航したことがないのである。英語力は幼いころならテレビ中毒で自然に身に着けたが、アメリカやヨーロッパまで一度も以降とっていない。しかし、親しいネット友達の影響でトップユニバーシティ助成金月のスタンフォード大学留学に応募しようとして、まさか人生1位の2か月間になると思わなかった。留学先では、10か国以上の国籍がいて、本当にダイバシティの頂点といえると思った。しかし、日本で好きそうな「グローバル」という言葉も一度も言われず、皆は自分が他の人と平等であることを考え、同じ立場で一緒に勉強したり、遊んだり、支えたりをした。私の日本にいる経験に比べたら、直にいうとスタンフォード大学のほうはより賑やかで、刺激的に生活を生きていたと思う。向こうでは、常に毎日新しいこと、文化交流パーティーや夜中のキャンパス探検などをやったり、計画なしに生活をしていることは以外と自分のメンタルな成長を助けた。異文化理解はもちろん、寮でその色んな経験から大事な人生の学びになった回数も多かった。

スタンフォード大学へ留学しようと思っているあなたに、この二つを必ずやらなければならないことがある。一つ目、寮をかならず「Branner Hall」にすること。二つ目、暇な時間をほとんどラウンジで過ごすこと。もしその以上の二つを成し遂げたら必ずスタンフォード大学で有意義な時間を過ごせるはず！